

企画・制作
埼玉新聞社
クロスメディア局

“循環器病”という社会課題に挑む

明治安田 執行役員 埼玉本部長 瀧野瀬 雅夫 氏



たきのせ・まさお
早稲田大学商学部卒。1990年4月入社。山口支社長、営業人事部長、神戸支社長などを経て、2024年4月から執行役員埼玉本部長。

佐藤 信也 氏

戸田中央総合病院 院長



さとう・しんや
東京医科大学卒。医学博士。日本循環器学会専門医。日本内科学会認定医、総合内科専門医。戸田リハビリテーション病院院長などを経て2021年4月から戸田中央総合病院院長。

患者数、がんの1.4倍

脳梗塞、心筋梗塞などの循環器病は、突然死や意識障害といった深刻な後遺症が残ることや、突然死も引き起こす怖い病気だが、リスクはあまり知られていない。患者数はがんの1.4倍、死因もがんに次ぐ2位という循環器病は国民病であり、社会課題と言え。その克服に取り組み明治安田の瀧野瀬雅夫執行役員埼玉本部長と、戸田中央メディカルケアグループ(TMG)の基幹病院である戸田中央総合病院院長佐藤信也医師に、予防の大切さや日々の備えについて語っていただいた。

リスク、認知度低く

明治安田は戸田中央総合病院とさまざまなお付き合いがあるそうですね。
瀧野瀬 乳がんの検診受診率アップを目指すピンクリボン運動に賛同し、本年度から協働の取り組みを開始しました。地域住民に向けた先生方による「乳がんセミナー」を開催し「ピンクリボン オンライントーク&ラン in 埼玉」にも参加しました。
また、私たちはトップアスリートを支える埼玉県の取り組みに協力しており、戸田中央総合病院のポーターと連携し、子どもたちにローリング(ボート漕ぎ)を体験してもらおう「ローリングクリニック」を開催しました。トップ選手と接することが刺激になればという狙いで、2回目になります。

循環器病のリスクは、まだ、どんな人がかかりやすいのでしょうか。
佐藤 我々、専門家には心臓が脳は別の問題ですが、循環器学会等は循環器病を脳卒中を含む血管の病気と捉えており、要介護状態になる一番の要因は脳梗塞、脳卒中です。
突然死することもある心不全も重要です。「人間は血管から老いる」と言われ人間の体はヒールの配管に例えられますが、配管の耐用年数は20〜40年。もっと長く生きる人間の血管は配管よりポロポロでもおかしくない。(病気に)ならないためにどうするか、なった場合に要介護度を下げることが重要ではないかと考えています。

リスクの高い人は、
瀧野 血中のLDL(悪玉)コレステロールや中性脂肪の高い人が血管が詰まりやすいのは明らかですが、本当にそれが問題なのか。心筋梗塞や狭心症という虚血性心臓病とコレステロールの関係は立証されているので肥満や糖尿病を予防することが大切ですが、脳卒中はコレステロールと発症率の関係について一定したデータがない。血圧コントロールで予防できるのは確かですが、血管が詰まる一番の原因であるコレステロールが直結するかどうか証明されていないのが現実です。
「恐ろしい病気ですね」

脳卒中の怖さは知られていません。半身まひや言葉が出なくなる要介護状態になると家族の負担になるし、亡くなることもあります。心臓も動き盛りの人が帰らぬ人になることも。発症を少しでも減らすことが大切ですが、我々が一番取り組んでいるのは発症した場合にどうやって助けるかです。

循環器病の予防に効果的なのは発症した場合にどうやって助けるかです。
瀧野 脳卒中の怖さは知られていません。半身まひや言葉が出なくなる要介護状態になると家族の負担になるし、亡くなることもあります。心臓も動き盛りの人が帰らぬ人になることも。発症を少しでも減らすことが大切ですが、我々が一番取り組んでいるのは発症した場合にどうやって助けるかです。

循環器病の予防に効果的なのは発症した場合にどうやって助けるかです。
瀧野 脳卒中の怖さは知られていません。半身まひや言葉が出なくなる要介護状態になると家族の負担になるし、亡くなることもあります。心臓も動き盛りの人が帰らぬ人になることも。発症を少しでも減らすことが大切ですが、我々が一番取り組んでいるのは発症した場合にどうやって助けるかです。

循環器病の予防に効果的なのは発症した場合にどうやって助けるかです。
瀧野 脳卒中の怖さは知られていません。半身まひや言葉が出なくなる要介護状態になると家族の負担になるし、亡くなることもあります。心臓も動き盛りの人が帰らぬ人になることも。発症を少しでも減らすことが大切ですが、我々が一番取り組んでいるのは発症した場合にどうやって助けるかです。

循環器病の予防に効果的なのは発症した場合にどうやって助けるかです。
瀧野 脳卒中の怖さは知られていません。半身まひや言葉が出なくなる要介護状態になると家族の負担になるし、亡くなることもあります。心臓も動き盛りの人が帰らぬ人になることも。発症を少しでも減らすことが大切ですが、我々が一番取り組んでいるのは発症した場合にどうやって助けるかです。

循環器病の予防に効果的なのは発症した場合にどうやって助けるかです。
瀧野 脳卒中の怖さは知られていません。半身まひや言葉が出なくなる要介護状態になると家族の負担になるし、亡くなることもあります。心臓も動き盛りの人が帰らぬ人になることも。発症を少しでも減らすことが大切ですが、我々が一番取り組んでいるのは発症した場合にどうやって助けるかです。

循環器病の予防に効果的なのは発症した場合にどうやって助けるかです。
瀧野 脳卒中の怖さは知られていません。半身まひや言葉が出なくなる要介護状態になると家族の負担になるし、亡くなることもあります。心臓も動き盛りの人が帰らぬ人になることも。発症を少しでも減らすことが大切ですが、我々が一番取り組んでいるのは発症した場合にどうやって助けるかです。

緊急時家族連絡カード

適切な処置、素早く仲介

脳梗塞や脳卒中、心臓病などで外出先で意識を失って倒れ、救急搬送されると緊急処置や手術が必要になる。本人の意思確認ができないと病院は家族に連絡を取らなければならない。所持品から連絡先を探すが、例えば運転免許証では連絡先は分からない。そんなとき、役に立つのが「緊急時家族連絡カード」だ。利用方法は専用の赤いカードを財布などに入れて持ち歩くだけ。1分1秒を争う緊急時に病院から家族への連絡を迅速に仲介し、適切な処置につなげる。緊急連絡先などの個人情報はID番号で管理され、漏えいの心配もない。明治安田の「循環器病 対策Pro」など対象商品の加入者は無料で利用できる。

明治安田、啓発に注力

4段階にわたる保障
明治安田は啓発にも取り組んでいます。全国に約3万6000人の営業職員(MYリンクコーディネーター)があり、埼玉では約2100人が、お客さまに寄り添いながら「予防を」継続できるような勇気づけます。啓発知識をしっかりと提供するため国立循環器病研究センターと提携し、循環器病がどんな病気か、どうすれば予防できるかを分かりやすくまとめた小冊子を作りました。
また、自宅などでも簡単に

取り組みも広がっています。保険会社は、病気になる前にサービスを提供するのが主眼でしたが、それを大事にしたがら健康な段階の未病の段階で発症した段階で予防の4段階でサービス、保障を提供できるようにしました。クオリティオブライフ、QOL応援プログラムの第一弾として進めています。
「予防のため日々の生活で気をつけるべきことは、
佐藤 血中コレステロール(発症に)直結する場合は難しい問題ですが、血管病変の進行は糖尿病と密接しています。糖尿病になると倍の早さで血管が老化するので生活習慣病のコントロールが一番。ご本人は「生活習慣が」いけないと分かっているんですよ。でも病院で助言を受けても改善できない。ここが問題だし続けなければいけません。続けるにはどうするか。明治安田さんの力を借りるのがいいと思いますね(笑)。

「先生、いかがですか。
佐藤 (発症の)前段階で病気になるように頑張った人が報われる機能があるのは良いですね。健康維持のモチベーションアップにもつながると思います。循環器病は発症前はあまり問題が現れず、突然襲ってきます。でも(発症の)前段階でQOLを改善するのはなかなか大変です。逆に言えば意識の高い人がいかに少ないかということ。私は(一般企業)産業医もやってますが問題を抱える人は毎年、大体同じ顔触れですね。

怖さ知らせる使命を
明治安田は新商品「循環器病 対策Pro」を発売しました。概要と目的、生命保険会社の役割について。
瀧野瀬 まず循環器病の恐ろしさをしっかりとお伝えします。商品は健康診断の数値が良い方がキャッシュバックが多く、悪くなると減ってしまうので、動画や冊子をお届けして努力していただきリターンも上げていこう。
佐藤 頑張る目標ができる

「本日は、ありがとうございます。」



「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」

「本日は、ありがとうございます。」